

返子市立図書館 2017年(平成29年)10月1日発行 vol.17

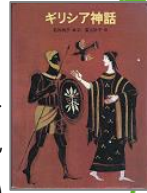
マーメイドくらぶ

返子市返子 4-2-10 046(871)5998 (電話案内サービス)

子ども版

『ギリシア神話』16キ

いしいももこ 石井桃子編・訳
とみやまたえこ 富山妙子画
しよてん のら書店



何千年も昔の人々には、嵐がおこることも季節がうつりかわることも不思議なことでした。その不思議をときあかすために生まれたのがギリシア神話です。オリピックの聖火のもとになっているプロメテウスの火、開けてはならないパンドラの箱など、現代にうけつがれているものも多いですよ。

『はじめての古事記－日本の神話－』91.3ハ

たけなかよしこ 竹中淑子文
ねざしたかこ 根岸貴子文
とくましよてん スズキコージ絵 徳間書店



日本のはじまり、神様たちの物語です。「いなばのしろうさぎ」「やまたのおろち」など、ぜひ読んでみてください。

『吸血鬼のおはなし』38ヤ

やあいたようこ 八百板洋子文
さいとうめお 齋藤芽生絵
ふくいんかんしよてん 福音館書店



吸血鬼ドラキュラといえば、真夜中にやってきて血を吸うおそろしいかいぶつが頭にうかびます。にんにくと十字架が苦手だとか。でも、ブルガリアにつたわる吸血鬼の本当の姿は、少しちがうようです。

『鬼が出た』38オ

おおにしひろし 大西広文
かじやまとしお 梶山俊夫ほか絵
ふくいんかんしよてん 福音館書店



昔話の桃太郎では鬼はたいじされてしまいますが、あるちいきでは鬼を神様として大切にしています。遊びの中ではあなただって鬼になったことがあるのではないですか？ 鬼って一体何者?! というぎもんにせまる本です。

むかしばなし 神話



秋の夜長は、お気に入りの本といっしょにすごしませんか。
日本と世界のむかしばなし、神話からおすすめの本12冊を
ご紹介します。あなたのゆめに、おはなしのつづきが出てく
るかもしれませんよ。

『マーメイドくらぶ』って・・・？

『マーメイドくらぶ』は、子ども版とYA(ヤングアダルト)版を3か月毎に交互に発行しています。テーマごとの本の紹介や図書館からのお知らせなど、図書館と本に関する情報をできるだけたくさんお届けします。

「**ちいさな曲芸師バーナビー**—フランスに伝わるおはなし—」

95 千 **バーバラ・クーニー**再話・絵 **末盛千枝子**訳 **すえもいフックス**

フランスで何百年もの間語りつがれてきた「**聖母マリアの曲芸師**」というおはなし。神様のために自分は何ができるのだろう。少年バーナビーのひたむきさに感動します。大人になっても読み返したい本です。



「**金のがちょうのほん**—**四つのむかしばなし**—」 93 7

レスリー・フルック文・画 **瀬田貞二**訳 **松瀬七織**訳 **福音館書店**

金のがちょう、三びきのくま、三びきのこぶた、親ゆびトム。どれも有名なむかしばなしです。でも、もしかしたら、この本ではみなさんの知っているおはなしと少しちがうかもしれませんよ…。



「**いこうな子ども**—**アジアの昔話**—」 92 11

松岡享子編・訳 **下田昌克**絵 **こぐま社**

わるい人にさらわれてしまった男の子。なんとかして家に帰ろうと知恵を使いますが…。子どもたちが大人と対決する物語が三つ入っています。



「**くったのんだわらった**—**ポーランド民話** **世界の**

昔話—」 E 4 **内田莉沙子**再話 **佐々木マキ**画 **福音館書店**

おおかみはひばりの夫婦のたまごを守ってあげるかわりに、自分勝手なじょうけんを出しました。かしこいひばりとおおかみのゆかいなおはなしです。さて、ひばりのたまごはどうなったのでしょうか？

「**みるなのくら**」 E 7

おざわとしお再話 **赤羽末吉**画 **福音館書店**

道にまよった男は、山おくの大きなやしきにとめてもらうことにしました。よく朝、るすばんをたのまれた男は、やしきのなかの十二の倉をつぎつぎにのぞいていきますが…。



「**ラプンツェル**—**グリム童話**より—」 E 11

バーバラ・ログスキーさいわ **トリナ・シャート・ハイマン**え **おおばみなこ**やく **ほるぷ**出版

ディズニー映画で『ラプンツェル』を知っている人は多いと思いますが、200年以上前にグリム兄弟が書いた原作を読んだことはありますか？ まほう使いのおばあさんに育てられた女の子ラプンツェルは、十二さいになると、高い塔の上の部屋にとじこめられてしまいます。



「**ひゃくにんのおとうさん**」 E 12

譚小勇文 **天野祐吉**文 **譚小勇**絵 **福音館書店**

はたらきもののお百姓さんの畑から大きな“かめ”がでてきました。“かめ”とは水やお酒などを入れる大きなうつつわのことです。ところが、この“かめ”には不思議な力があつたのです。



「**ありがたいこってす!**—**ユダヤの民話**から—」 E 13

マーゴット・ツェマックさく **わたなべしげお**やく **童話館**

八人家族で小さな家に住んでいる男は、そうそうしくてけんかばかりの毎日にうんざり。博士にそうだんにいきました。でも博士のいうとおりにするとますます大変なことになってしまい…。

